

● 第1部・議案審議  
矢野会長  
総会開催にあたり挨拶した矢野会長は、「当社が防草ブロックの製造を始めて10年が経過したが、昨年の「環境賞」受賞もあり、ようやく防草のメカニズムが広く理解され、製品自体も認められるようになってきた。東海3県では国道各国道事務所、県建設事務所などでかなりの実績を上げている。

採用実績が増えるに従い、全国各地で様々な製品に防草ブロックの機能を取り入れたいという話が事務局に寄せられている。全国展開を進める以上こうした動きは当然で、今年度から技術部会を立ち上げ技術的なテーマについて意見や情報交換をしてはどうかと考えている。また昨年12月には平和コンクリート工業(三重県)の協力を得て国交省静岡国道事務所で、今年6月には沼津河川国道事務所で製品のプレゼンを行った。いずれも大変好評で、優れた機能を有しているだけに役所営業は非常に効果があると考えている。PR活

会長は、「当社が防草ブロックの製造を始めて10年が経過したが、昨年の「環境賞」受賞もあり、ようやく防草のメカニズムが広く理解され、製品自体も認められるようになってきた。東海3県では国道各国道事務所、県建設事務所などでかなりの実績を上げている。

● 第2部  
矢野会長が再任  
3社入会、会員40社に  
会員社は40社／団体(正会員34社／団体、賛助会員5社、顧問1団体)となった。



矢野会長

## 第3回通常総会を開催

全国防草ブロック工業会(会長=矢野明正氏)は6月27日、名古屋市のアパホテル名古屋錦で第3回通常総会を開催した。

総会では第1部で議案審議を行い、平成25年度事業報告・会計報告、平成26年度事業計画案・予算案を原案通り可決承認した。また任期満了に伴う役員改選では矢野会長をはじめ全役員が再任した。

第2部では講演会などが行われた。同工業会には新たに3社が入会、会員社は40社／団体になった。

動の一助としてカタログ内容の充実も図っているので是非、有効活用して欲しい。防草ブロックの拡販を通じた会員各社の業績向上と工業会の発展に期待している」と述べた。

議案審議は矢野会長を議長に選任して進められ、平成25年度事業報告・会計報告、平成26年度事業計画案・予算案を原案通り可決承認した。任期満了に伴う役員改選では矢野明正会長(矢野コンクリート工業)、日下鉄二副会長(柳沢コンクリート工業)をはじめ全役員の再任を決めた。また新理事として高橋清氏(イズコン)、新監事として藤原平明氏(豊國コンクリート)を選任した。今期は販促・営業支援として各自治体新技術データベースへの登録支援、展示会支援などを計画している。また名古屋大学の北野英己教授との共同研究も開始する。組織面では新たに技術部会を設立、名古屋大学との連携を図り製品開発などを進めることにしている。

● 第2部では、石田鉄工が新商品「エレファンドレン」を紹介した。他、防草研究会の石川重規氏が「防草ブロックの概要」について、名古屋大学教授の北野英己氏が「植物の持つ潜在パワーの発見と食料、

環境問題への対応」をテーマに講演した。

● 第2部では、石田鉄工が新商品「エレファンドレン」を紹介した。他、防草研究会の石川重規氏が「防草ブロックの概要」について、名古屋大学教授の北野英己氏が「植物の持つ潜在パワーの発見と食料、

環境問題への対応」をテーマに講演した。

植物は生育条件さえ整えばどこでも生育するため、目地対策などを施しても僅かな隙間を見つけて生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、植物の成長メカニズムを狂わせる下向きの角度と長さの目地構造を採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3種類で車道防草型と縁石防草型、細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。

【防草ブロックの概要】

植物は生育条件さえ整えばどこ

でも生育するため、目地対策など

を施しても僅かな隙間を見つけて

生えてくる。

これに対しても防草ブロックは、

植物の成長メカニズムを狂わせる

下向きの角度と長さの目地構造を

採用した製品。植物本来の成長方

格を抑えた溶接タイプを紹介した。

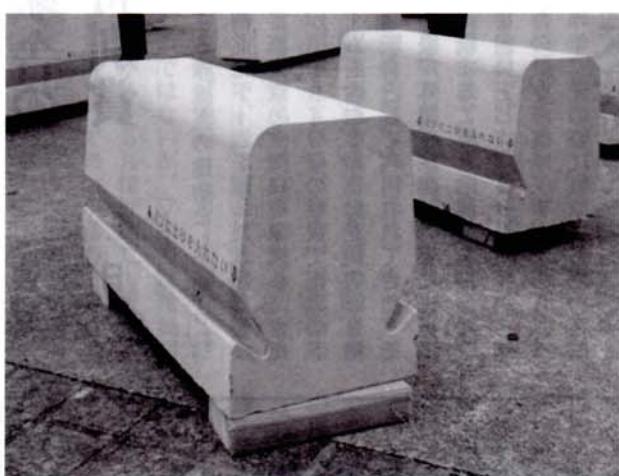
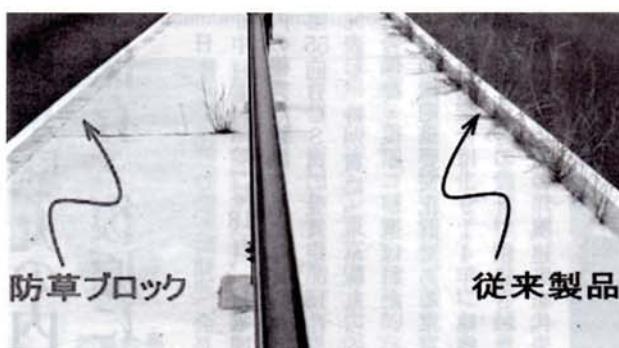
高さは90・120・150mmの3

種類で車道防草型と縁石防草型、

細目・普通目・ボルト固定、Yバー

カラーレー、Tバー、ノンスリップバ

ーなど様々なタイプがある。</



●「植物の持つ潜在パワーの発見と食料、環境問題への対応」  
～名古屋大学教授・北野英己氏

石川氏は「防草ブロックは雑草が自ら成長を止める初めての技術製品だ。役所からも期待できる」と述べた。

向(屈性)に反する目地構造で、植物の成長メカニズムがアンバランスとなり成長が止まるため防草効果が期待できる。石川氏は「従来のブロックは目地構造が垂直なので雑草が簡単に成長して地上に出てくる。防草ブロックは目地形状(切欠け)によって成長する植物が行き場を失い、茎が下向きとなり成長を止めてしまう。路盤の表面から種子が入りこんだ場合には、根はいつたん成長を開始するが路盤へ到達する事ができず、水分吸収も出来なくなり枯死する。ただし地構造に路盤材が入り込むと、規営業の役所でも1・2カ月で発注になった事例がある。防草ブロックは二ーズでは無く、この製品

「溝に土砂を入れない」というステンプを製品に押しているメーカーの事例を紹介した。

植物の生育条件が整っている場所でも防草できるのが防草ブロックの大きな強みで、目地に8mm程度の隙間があつても植物の成長が止まることを実証研究で確認済で、実際の現場で生じる隙間は2~3mm程度であるため防草ブロックの防草効果は十分期待できる。

石川氏は「防草ブロックは雑草が自ら成長を止める初めての技術製品だ。役所からも期待できる」と述べた上で、「植物の持つ潜在パワーの発見と食料、環境問題への対応」～名古屋大学教授・北野英己氏

北野氏は「植物の潜在パワーのうち最も大きな力は光合成だ。光合成は温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>を吸収し酸素を放出すると同時に炭素化物を作る。動物のほとんどは酸素と炭化物の恩恵を受けているが、地球全体のバランスが崩れており農業の現場でも問題が起きている」と述べた上で、「植

が欲しいというウォンツが高まつ

ており、役所営業の効果は非常に大きさい。昨年度の発注工事件数も前年度の2倍近い1・8倍の実績だった」と述べた。

●「植物の持つ潜在パワーの発見と食料、環境問題への対応」  
～名古屋大学教授・北野英己氏

が進んでいる」と説明した。

このうち食糧問題について北野

教授は「世界の人口は今世紀末に100億人を超えると言われてお

り、新興国が豊かになるにつれて穀物の価格が上昇し将来的に食物

が不足することがはつきりしてい

る。一方、日本ではこのままの出

生率が続くと100年後には明治

時代と同じ6000万人まで人口

が減少すると言われている。しか

し食糧危機と無縁では無く、外國

から安い食料を輸入することは難

しくなる。しかし日本の農家は過

去10年間で半減し、今後10年で

さらに半減する

と言われている。

若者が農業に魅

力を感じ就農で生活できる構造、つまり儲かる産業として活躍する場面を早急に作り上げなくてはいけない」と述べ、日本の農業を見直し生産構造再構築する必要性を指摘した上で、「植物が持つている

物のゲノム構造解析が進み日本で

も植物を使い、環境・食糧・エネ

ルギー問題の解決に向けた取り組

めている」と述べた。

北野氏は稲のゲノムを使い害虫

に対する耐性や多収性・出穂性・高温耐性などを併せ持つ稲を開発した事例などを紹介し「洋服を仕立てるように稲を設計して育種す

るテーラーメード育種が可能にな

ってきた。1970年代に小麦で

緑の革命が起きて食糧問題は解決するのではないかと言われたが、

50年経過した現在も食料問題は解

決していない。しかしテーラーメ

ード育種で第2の緑の革命も可能

になるのではないか」と述べた。

さらに海外の事例として、巨大なコンバインを使い1枚50ヘクタールの水田を半日で収穫し、巨大なローリー車で乾燥所に運ぶ大規模省人化農業を紹介。「日本も少子化で一人あたり耕地は増加する。日本固有の精巧な生産技術を上手く組み合わせれば世界に太刀打ちできる農業ができるのではないか」と述べて、全ての作業をオートメーション化するためにラジコンヘリで育成管理する取り組みを紹介した。

最後に北野氏は「日本でも大規

模農業が始まれば、農道や林道にもローリー車に入る必要があり、

そうした現場でも防草ブロックが

採用されるのではないか」と述べた。